

令和2年度各部署の重点課題の取組結果

部(局)	病院事務局
部(局)長	中川 拓也

【基本姿勢】

市立柏原病院では、自治体病院が担うべき地域医療の中心的な役割を果たすとともに、良質な医療の提供を行えるよう取り組んでまいります。
また、医業収益の向上、経費の削減に取り組み、安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和2年度 達成状況
1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上	A
2	安定した経営基盤の確立	

※ コロナ禍の影響により、重点課題2については、評価はしていません。

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 1	医療提供体制の充実と患者サービスの向上
--------	---------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域の医療ニーズに即した医療提供体制の構築に努めます。
---------------------	-----------------------------

活動目標
地域の医療機関との連携強化を図ります。
職員の接遇強化に取り組み、患者サービスの向上に努めます。

具体的な取組実績
近隣医療機関(57施設)を対象に郵送によるアンケートを実施しました。 アンケート集計後に予定していた訪問活動については、コロナ禍の影響により実施できませんでした。
患者さんに安心して受診いただくため、年間を通じて新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組(来院者への発熱確認、手指消毒の徹底)を行いました。

達成目標
診療所等からの紹介患者数6,000人以上を目標とします。
市民意識調査の「医療体制」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
コロナ禍の影響により、地域の医療機関との連携強化のための訪問活動も十分に実施できませんでした。	
(参考) 紹介患者数 今年度 4,403人(令和3年1月末時点) 前年度 4,992人(令和2年1月末時点)	
「医療体制」の満足度 今回 3.18点 前回 3.10点	A
	達成

総合評価・総括
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を優先した病院運営の1年間となりました。活動目標に掲げていました取組の多くは実行できませんでしたが、感染拡大を防ぐ取組みや発熱者専用外来の開設など、コロナ禍の中当院に求められる医療体制の構築に努めることはできたと考えています。

※ コロナ禍の影響により、達成目標の①(紹介患者数)達成度については、評価はしていません。

局名	病院事務局
----	-------

重点課題 2	安定した経営基盤の確立
--------	-------------

全体の達成度

目指すべき方向 (中期的な目標)	医業収益の増加と経費の削減に努め、資金不足額の減少に取り組めます。
---------------------	-----------------------------------

活動目標
医業収益の向上を図るため、患者数の増加に努めます。
医業費用の削減を図るため、経費の削減に努めます。

具体的な取組実績
令和2年度は、病院の方針として新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組んでまいりました。そのため、当院患者数の増加につなげるために予定していました多くの活動は実施できませんでした。
業務を遂行できる複数の業者から見積りを徴取することにより委託料の一部、使用料の削減は出来たものの、新型コロナウイルス感染症に対応するための検体検査等の委託料が増加し目標は達成できませんでした。

達成目標
患者数の増加（新入院患者数の前年度から3%の増加、外来延べ患者数の前年度から5%の増加）
使用料、委託料の削減 (目標額1,500万円)

達成状況	達成度
<p>コロナ禍の影響により減少しました。 (参考)</p> <p>新入院患者数 今年度 2,890人(令和3年1月末時点) 前年度 3,455人(令和2年1月末時点)</p> <p>のべ外来患者数 今年度 71,154人(令和3年1月末時点) 前年度 81,567人(令和2年1月末時点)</p>	
<p>(参考)</p> <p>使用料 今年度 約7,300万円(令和3年1月末時点) 前年度 約8,600万円(令和2年1月末時点)</p> <p>委託料 今年度 約44,000万円(令和3年1月末時点) 前年度 約42,100万円(令和2年1月末時点)</p>	D 未達成

総合評価・総括
<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行による受診控えや不要不急の手術の延期などにより年間を通して患者数は減少し、医業収益は減少。一方、医業支出においては、光熱水費等使用料の削減は図れたものの、委託料は前年度よりも増加する結果となりました。</p> <p>令和2年度は、医業収益は大きく減少となったものの、新型コロナウイルス感染症への対応に対する補助金の交付を受けましたことから、資金不足額は減少する見込みとなっています。</p>

※ コロナ禍の影響により、重点課題 2の達成度については、評価はしていません。